

課

カ

〔4年〕

15画
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五
とめる

なりたち 果と言(こんべん)との会意形声字。果たすべき仕事を言い付ける。という意味の字。仕事を割り当てること。また、割り当てられた仕事。わが国では、役所や会社の内部組織の区分けの名称に使う。



いみじゆく
▼割り当てる。
課題：①割り当てられた問題と与えられた問題。②解決しなければならぬ問題。

【用例】緊急の課題。

課税：税金を割り当てること。また、課せられた税金。【例】課税品目

課業：割り当てられた学業や業務(仕事)。

日課：毎日すると決めた仕事。

【用例】犬を散歩に連れて行くのが私の日課だ。

賦課：税金を割り当てて納めさせること。

▼役所や会社などで、事務を分担して行う単位。

課長：会社や役所などの課の責任者。

よみかた 課役・課外・課程・課目・学課・考課・正課・放課後

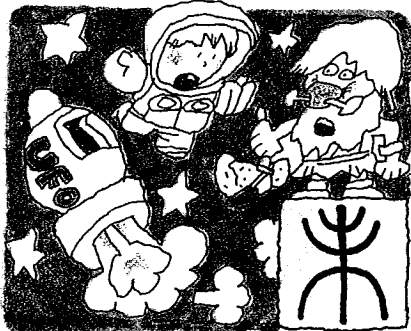
未

ミ

〔4年〕

5画
一 二 三 四 五
ながく

なりたち 木に若い新しい枝が出た形を表した字で、若くてまだよく発達していないことを表した指事字。まだ……しない」という意味の字。



いみじゆく

▼いまだ。まだ……しない。未開：①文明がまだ開けていないこと。【例】未開人

▼だ開拓されていないこと。未完：まだ完成していないこと。

【用例】未完の大事。(将来の大成が期待される人物)

未熟：①果実などが、まだ良く熟していないこと。②まだ十分に熟練していないこと。

【用例】技術が未熟。

未曾有(むじゆう)：今までに一度もなかったこと。空前。「未(む)だ曾(む)て有(あ)らず」を音読したもの。【用例】未曾有の出来事。

未満：ある数値にまだ達していないこと。【例】十八歳未満

未来：①現在より先の時。将来。②仏教で死後の世界。

▼十二支の八番目。ひつじ。未婚・未詳・未明

よみかた

よみかた

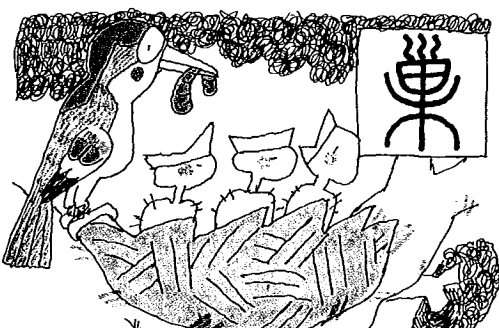
巢

ソウ

〔4年〕

11画
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一
はらう

なりたち 旧字体は巢。木の上の鳥の巢の中に雛鳥(ひな)がいる姿を表した象形字。鳥の巢を表した字である。す。



いみじゆく

▼巢。鳥のすみか。巣箱：鳥が巢を作りやすいように、人が作って木の枝などにかけておく箱。

営巣：動物、特に鳥が自分の巣を作ること。【例】営巣本能

巣立ち：①雛(ひな)が成長して巣を離れること。巣離れ。

②子供が一人前になって社会に出ること。

古巣：以前、住んで居た所。鳥などが元住んで居た巢の意味から。

▼悪者などのすみか。巢窟(すく)：悪者などが集まって隠れ住んでいる所。

よみかた 空き巢・浮き巢・病巢・卵巢

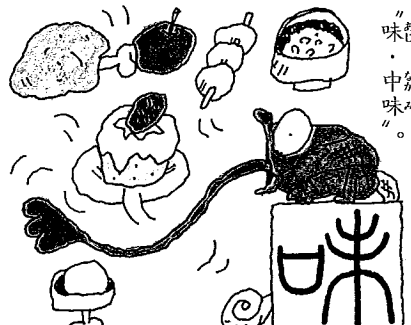
味

ミ

〔3年〕

8画
一 二 三 四 五 六 七 八
ながく

なりたち ロと未との会意形声字。「まだ口にしない」という意味の字で、どんな味か「あじわう」ことを表したものである。「味わう」こと。また、「味・中味」。



いみじゆく

▼味。味覚：舌で感じる味。感覚。甘い・苦い・辛い・酸っぱいなどの感覚。

珍味：めつたに味わえない、おいしい食べ物。【用例】山海の珍味。

風味：何とも言えない良い味わい。

▼味わう。よく鑑賞する。吟味：①品質・内容などをよく調べること。【用例】材料を吟味して作った料理。②昔、罪人を取り調べたこと。

味読：文章をよく味わいながら読むこと。

▼物事の内容。面白味。意味：①その言葉の示す内容。②人の行為の動機。わけ。

③意義。価値。

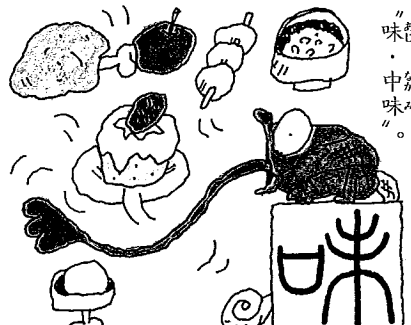
さんこう 特別なよみかた↓

さんこう

さんこう

さんこう

味



さんこう